

Part I

文書の見た目やスタイルをカスタマイズ

```
1      \lstset{
2          basicstyle=\ttfamily,
3          frame=single,
4          breaklines=true,
5          numbers=left,
6          numberstyle=\tiny,
7          backgroundcolor=\color{gray!10},
8          rulesepcolor=\color{gray!10}
9      }
```

- `basicstyle=\normalsize\ttfamily`: リスト内のテキストを通常サイズの固定幅フォント（タイプライターフォント）で表示
- `numbers=left`: 行番号を左側に表示
- `numberstyle=\scriptsize`: 行番号のフォントサイズを小さく設定
- `stepnumber=1`: 全ての行に行番号をつける
- `numbersep=8pt`: 行番号とコードの間の距離を 8 ポイントに設定
- `showstringspaces=false`: 文字列内の空白を特別な記号で表示しないようにする
- `breaklines=true`: 長い行がページの端に達した場合に自動的に折り返す
- `frame=lines`: リストの上部と下部に線を引いて枠を作る
- `backgroundcolor=\color{gray!10}`: リストの背景色を薄いグレー（10%のグレー）で設定
- `stringstyle=\color{red}`: 文字列を赤色で表示
- `keywordstyle=\color{blue}\bfseries`: キーワード（true, false, null）を青色で太字にする
- `keywords={true, false, null}`: true, false, null を JSON のキーワードとして認識し、キーワードスタイルを適用する

Part II

JSON コードを挿入し、特定のスタイルを適用するための設定

```
1      \lstdefinelanguage{json}{  
2          basicstyle=\normalsize\ttfamily,  
3          numbers=left,  
4          numberstyle=\scriptsize,  
5          stepnumber=1,  
6          numbersep=8pt,  
7          showstringspaces=false,  
8          breaklines=true,  
9          frame=lines,  
10         backgroundcolor=\color{gray!10},  
11         stringstyle=\color{red},  
12         keywordstyle=\color{blue}\bfseries,  
13         keywords={true, false, null}  
14     }
```

- `basicstyle=\normalsize\ttfamily`: リスト内のテキストを通常サイズの固定幅フォント（タイプライターフォント）で表示します。
- `numbers=left`: 行番号を左側に表示します。
- `numberstyle=\scriptsize`: 行番号のフォントサイズを小さく設定します。
- `stepnumber=1`: すべての行に行番号をつけます。
- `numbersep=8pt`: 行番号とコードの間の距離を 8 ポイントに設定します。
- `showstringspaces=false`: 文字列内の空白を特別な記号で表示しないようにします。
- `breaklines=true`: 長い行がページの端に達した場合に自動的に折り返します。
- `frame=lines`: リストの上部と下部に線を引いて枠を作ります。
- `backgroundcolor=\color{gray!10}`: リストの背景色を薄いグレー（10%のグレー）で設定します。
- `stringstyle=\color{red}`: 文字列を赤色で表示します。
- `keywordstyle=\color{blue}\bfseries`: キーワード（true, false, null）を青色で太字にします。

- `keywords={true, false, null}`: `true`, `false`, `null` を JSON のキーワードとして認識し、キーワードスタイルを適用します。

Part III

レポジトリへの Commit

1. 以下の URL から先生の github に移動 <https://github.com/KazumasaFUJIWARA/rgt>
2. アカウントを作成
3. メールアドレスを先生に送信して招待してもらう
4. レポジトリ内のメールからメールを確認し、承諾する
5. 招待されたサイトをデスクトップに追加しておく